

問 ふるさと納税を
地方PRの機会に

答 しっかり推進して
いきたい

田中

県下の自治体がふるさと納税アップの取り組みをしている。この制度を地方創生とリンクして取り組み産業振興や元気な町づくりが行われている。本町も地産外商・地方PRの機会としないか。

池田町長

本町としても多くの特産物がある。地域・地産外商には大きな効果がある。これらを組み合わせ返戻品の数を増やしたい。住民の力を借りて推進していく。



整理作業が進む郷土資料館

問 広報への有料広告
募集を

答 今年度開始に向け
準備している

田中

少子高齢化が進み今後、町の財政状況は厳しくなる。他の市町では広報に有料広告の取り組みをしている。自主財源確保に向けて本町も取り組まないか。

岡崎企画調整課長

有料広告については28年度中の開始に向け現在準備している。他の市町村の状況も確認して早期に進めていく。

問 5年間で611人の
町民減少

答 非常にショック

田中

国税調査速報値によると本町は5年間で611人減少した。この数値をどう捉えるか。これまで若者定住や移住の取り組みをしてきたが、その取り組みと成果は。

池田町長

調査速報値は、人口推定を上回る減少で非常にショック。何とかしなければならぬ。移住相談員を配置して相談を受けているが移住に繋がっていない。今後各課連携して移住促進に取り組む。

高橋西庁産業建設課長

橋梁については3年前から点検し老朽度の高い所から対応。簡易水道については大きな社会問題。総合水道事業の統合認可計画と併せ施設更新計画を今年度予算に計上している。

問 公共施設等総合管理計画は

答 全町的な計画を策定していく

田中

過去に建設された公共施設等が更新時期になる。将来、財政状況がさらに厳しくなる。庁舎・学校・体育館・集会所・住宅等のハコモノ、道路河川・水道などインフラ整備に多くの課題が出てくる。管理計画についての検討は。

下元総務課長